

北海之光

6月号 北海道教区報

わたしがここにおります
 わたしを遣わしてください
 イザヤ書6章8節

発行所 北海の光社
 001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
 日本聖公会北海道教区事務所
 電話 011-717-8181
 F A X 011-736-8377
 E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp
 http://www.nssk-hokkaido.jp
 発行人 植松 誠

「悲しいくらいの愛」

ヨハネによる福音書一五章九〜一七節

北見聖ヤコブ教会牧師・網走聖ペテロ教会牧師
司祭 フランシスコ 飯野 正行

影響を受けやすい人間だと

私は自分で思うのですが、皆様はいかがでしょうか。人を最も変えるのは教えや強い言葉や大きな業績などではなく

「人格」であると言われますが、イエス様の品性に絶対の影響を受けたと思われる使徒聖ヨハネについて一緒に見てまいりたいと思います。

イエス様につき従う人たちは皆「弟子」と言われていたようですが、その中の直属の二人は特別に「使徒」と呼ばれ、「一二弟子」と言われた時にはこの使徒の一二名を指します。この使徒たちの中に「ヨハネ」という人物がおりまして、父はゼベダイで、ヤコブという兄弟がおり、漁師でした。ヨハネはヤコブと共にとても名譽心が強く、御国でイエス様の右と左に座らせてくだささいとお願いしてい

ますし、母親もそのようなところがあつたようです(マルコ一〇・三七。マタイ二〇・二二)。また非常に激しい気性の持ち主で、短腹たんぱちだつたようで、その激しさは、イエス様から「雷の子ら」と呼ばれるほどで(マルコ三・一七)、自分たちに従わない者たちが奇跡を行うのを禁止しようとしたり(マルコ九・三八)、イエス様を歓迎しなかつたサマリアの人々を「天から火を降らせて、彼らを焼き滅ぼしましょうか」と言い、イエス様に厳しく戒められています(ルカ九・五二〜五五)。また、ヨハネはイエス様が「互いに愛し合いなさい」と度々言われていたのをお聞きしていたのですが、愛の大切さは旧約の時代から教えられていることであつて、それを「新しい掟」(ヨハネ一三・三四)と

表現されることに疑問を抱いていたかも知れませんが、彼の気性からするとイエス様の教えは「綺麗な事」と映っていたかもしれないです。ですから、彼がイエス様の教えを退け、我が道を行つたとしても不思議はないと思うのです。

ところが、後に彼は全世界に手紙を送ります(ヨハネの手紙 I・II・III)。その中で彼は何度も何度も繰り返して書いています「互いに愛し合いなさい」。あの短腹たんぱちな男が「互いに愛し合いなさい」と繰り返す人となつているのです。イエス様との交わりが彼を変えたのです。

ヨハネは晩年、体が弱く、歩くことが出来ず、日曜日ごとに信徒の方々の手によって教会に運ばれ、説教の時間になると人々に起こされ支えられて語つたのですが、彼の語るのはいつも同じ一言で「互いに愛し合いなさい」とだけ語り、また横になつたと言われております。ところがこれを聴いた会衆は皆泣いたと言われております。あの「雷の

子」が、何度も繰り返して「互いに愛し合いなさい」と悲しいくらいの愛で語る人となっているのです。

彼が同じ説教ばかりしていたことに関して、老人性の認知症等を見る方々もおられますが、ヨハネと言えども生身の人間ですので、それも有り得ると思います。もしそうだとするならば、私は尚更感動するのです。遠のいて行く世界の中で、唯一彼の記憶に残っていた言葉が「互いに愛し合いなさい」であつたとしたら、ものすごいことではないかと。

名譽心が強く、短腹で、非常に激しい気性の持ち主であつた彼が、やがて全世界から「愛の使徒聖ヨハネ」と仰がれるようになります。「天から火を降らせて、彼らを焼き滅ぼしましょうか」と叫んだ彼が、「互いに愛し合いなさい」と、悲しいくらいの愛で語っているのです。言葉を超える愛の力に想えるのです。

※短腹たんぱち 北海道の方言で「短気ですぐ立腹する」

「新しい掟」(ヨハネ一三・三四)と



福音と私(二一七)



—心の窓をひらいて—

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

岩見沢聖十字教会信徒

ヨハネ・クリンストム 山本達郎



【好きな聖句】

受けるよりは与える方が幸いである

使徒言行録二〇・三五

「モーツアルトと私」

私は、岩見沢市で創業八九年の歯科医院の二代目院長として、診療に従事しています。

山本家は、先祖代々禅宗の曹洞宗の檀家ですが、私の父は合理的な教えを説く、キリスト教に一種の憧れを持っていました。と言いますのは、すぐ近所に仕事や趣味の魚釣で親交のあった鎌田外科医院の院長が、キリスト教の信者という事が少なからず影響があったと思います。又その医院の放射線技師として勤務していたのが、札幌キリスト教

ます。

会信徒沖田幸造さんでした。縁あって、私は昭和四〇年五月二三日、札幌キリスト教会信徒の刈谷悦子さんと、ホテル三愛(現札幌パークホテル)で、林稔司祭の司式で、結婚式を挙げました。

妻との出会いは、私が日大歯学部を昭和三八年に卒業して、その年の七月に北大医学部付属病院歯科に文部教官助手として勤務していた時期で、父と私、そして刈谷歯科医院の勇先生、博栄先生、栄演先生が日大の同窓という縁で、又栄演先生とは同期生でした。

ある日曜礼拝の後、司祭や教会の役員の方々が刈谷宅に集まって、歓談している所に、私も同席した記憶があり

私は、昭和五〇年頃より岩見沢聖十字幼稚園の園医をお引き受けし、毎年六月に園児の歯の検診と紙芝居による歯磨指導、そして園児の皆さんに、歯ブラシや歯磨シールなどをプレゼントしています。

去年は聖十字幼稚園創立五〇周年を迎え心よりお祝い申し上げます。

第三代聖十字幼稚園園長の藤井八郎司祭とは、もう四〇年以上のご指導を頂いております。司祭が函館聖ヨハネ教会に転任してからも、年一回以上は夫婦で礼拝に出席させて頂いています。

前置が長くなりましたが、本題に入りたいと思います。モーツアルトは一七五六年一月二七日に、ザルツブルグで生まれ、洗礼名は「ヨアネス・クリュンストム・ヴォルフガングス・テオーフィルス・モーツアルト」と名づけられました。「ヨアネス・クリュンストムス」は「金の口のヨハネ」を意味し、聖人ヨハネ・クリュンストムスの名です。

実はモーツアルトが生まれた一月二七日は、この聖人の祝日なのです。ザルツブルグ大聖堂管区洗礼名簿には「ヨアネス・クリュンストムス・ヴォルフガングス・アマデオ・モーツアルト」と書かれています。神童モーツアルトは、五才にして「クラヴィーアのためのアンダンテ」を作曲し、

以来三五年十カ月の短い生涯で、八〇〇曲近い作品を残しています。最後の作品は絶筆に終わった「レクイエム」K六二六です。彼は又フリー・メイソンの幹部メンバーとしても有名です。

さて、私は一九三九年一月二七日生まれで、奇しくもモーツアルトと月日が同じで、大変感慨深いものがあります。クラシック音楽は若い時から好きでしたが、特にモーツアルトの曲が大好きで、モーツアルトに関する書籍やCDを多く集める様になりました。余暇を楽しんでいます。

二〇〇九年三月二九日に、函館聖ヨハネ教会で藤井司祭の司式で洗礼を受け、ヨハネ・クリュンストム山本達郎となりました。

実は函館に行く少し前のある日、私は妻より、「あなたも洗礼を受ければ…」と言う言葉に、私は何の抵抗もなく決めました。しかし、七〇を過ぎた、いい親爺が何で今さら洗礼、という気持が心の片隅で少しありました。今でも聖水の冷たかった事を憶えています。(頭髮が少し寂しいので?)

その後、八月一六日、岩見沢聖十字教会で、植松主教様の司式で、堅信式を受け、晴れて日本聖公会の信徒になる事が出来ました。

以来、余り真面目な信徒といえない自分ですが、日々健康に留意して、一生懸命仕事をして、心の安らぎをイエス様より与えられて過ごしています。主に感謝。

二〇〇九年三月二九日に、函館聖ヨハネ教会で藤井司祭の司式で洗礼を受け、ヨハネ・クリュンストム山本達郎となりました。



常置委員会報告

第七回五月七日

《協議事項》

- 一、三浦千晴聖職候補生志願者の夏期実習の件
- ・実習受け入れを広谷司祭指導のもと、旭川聖マルコ教会に依頼する事とした。

期間は一週間から十日位。
二、稚内聖公会・厚岸聖オースチン教会の件

- ・両教会の現状と諸般の課題について関係者との協議の上、次期教会会までに方向性を得るようにしたい。
- 三、二〇二〇年に開催予定のランベス会議に関する件

・十年に一度のランベス会議に教区主教が出席するための費用の備えについて検討を開始することとした。

- 四、教区宣教一五〇周年の件
- ・具体的な準備に着手できるように、基本方針についての協議を開始する事とした。
- 五、リベリナ教区との関係



主教室より

五月下旬から六月の初めまで、朝の聖書日課では箴言が読まれていました。普段あまり箴言を読むことはありませんが、聖書日課です。毎朝決められた箇所を開くのですが、真面目な顔でそれを読んでいる妻の声を聞きながら、思わず心の中で笑みがこぼれることが何度もあります。もし私が声を出して笑い出したら、おそらく妻も笑い出し、朝の祈りはそれ以上進まなくなるでしょう。例えば、今朝(六月二日)の日課では、「いさかしの好きな妻と一緒に家にいるよりは、屋根の片隅に座っている方がよい」(箴言二五：二四)と。

大昔、イスラエルの民が住んでいたのは、遊牧の場合はテントでしょうが、エルサレムなどの街中では、レンガや石を積み重ねた小さな家。それは、いくつも部屋があるわけではなく、今で言う2Kくらい。中風の病人をイエス様のごとに連れてきた友人たちが、その家の屋根(天井)をぶち抜いて、病人を抱架ごとイエス様の前に吊り下ろすという話を考えても、あまり雨の降らない彼の地では、屋根もお粗末だったと思います。

「いさかいの好きな妻」から逃れるのは、「屋根の片隅」なのです。屋根の真ん中では天井が抜けてしまいかもしれないから。でも、妻に何も言えないで、彼女の前からスーツといなくなり、屋根(屋上)に上っていく夫のいじらしい姿に、そして、屋根の片隅で、外を見下ろしながら妻の興奮が冷めるのをじいーっと待っている彼の姿に漂う哀愁。父権(夫権)社会だと言われる旧約聖書の世界で、本当のところ、誰が一番強いのかを箴言はユーモアたっぷりに語っているような気がします。

私は、若い頃、機嫌が悪くなると、ぶいっと家を出て行きましたが、妻は、どんなときでも家にいました。「私は大人だからね」と。主教 ナタナエル 植松 誠

・早い機会に、今後について協議・決定することとした。

堅信式受領

おめでとう

札幌聖ミカエル教会

ブリジッド

堀川 光恵

五月二〇日

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

七月二一日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 林 稔

一九七八年七月一日

伝道師 小川 淳一

一九一二年七月三日

主教 渡辺 政直

二〇〇二年七月一〇日

司祭 今井 四郎太

一九四六年七月二一日

司祭 野村 義雄

一九六二年七月一四日

伝道師 黒田 富雄

一八九四年七月一六日

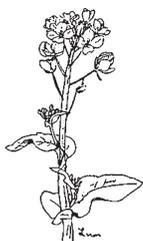
司祭 木村 定三

一九四五年七月一八日

伝道師 ジェーン

A・ステープリー

一九六三年七月二四日



教区修養会の予告

とき 一〇月七日(日) 午後七時〜

八日(月) 正午

会場 札幌キリスト教会

主題 「わたしたちの祈り 祈禱書の豊かさ再発見」

講師 相澤牧人司祭(横浜教区)

詳しくは各教会へ申込み用紙と共に、ご案内いたします。

「教区礼拝を終えて」

聖職候補生 ノア 上平 更

示されていた全聖公会管区の地図に興味を持たれた方が「世界のこれだけの国や地域に管区があり、共に祈りを捧

五月一九日雨天の中、札幌キリスト教会主教座聖堂に全道二三教会から約二七〇名の信徒が集い北海道宣教一四四周年を記念する教区礼拝が無事、行われました。

今年は、沖縄教区主教ダビデ上原榮正師父に、二日前から行われていた春の教役者会の講師として、また教区礼拝説教者としてお越しいただきました。

上原主教は、説教の中で沖縄教区の歴史に触れ、教区発足とも関係の深いハンセン病患者のための国立療養施設



沖縄教区主教 ダビデ 上原榮正師父

「沖縄愛楽園」の設立の経緯、その立ち上げに力を尽くされたイギリスの宣教師ハンナ・リデル女史と、彼女と荒砥琢哉司祭についてお話しくださいました。

荒砥司祭については、四月の北海道教区教役者逝去記念礼拝で覚えられていますが、按手を受けてから、九州・沖縄でご奉仕されていたことを初めて知りました。この話を聞きながら、先日、教会に掲



教役者団による昇階唱

げているのは素晴らしいこと

ですね。」とお話しされていたことを思い出しました。

日本聖公会は一一の教区から成り、そして教区はそのパリッシュ(教区主教の治める地域)の教会と信徒によって成り立っています。

普段は、自分たちの通う教会外への関心を持つ機会が少ないかもしれませんが、今回のように教区を超えて仕えた司祭の働きを振り返ることは、聖公会という共同体の中で信仰を持つ私たちにとって大切なことだと思います。

どこかの教区・教会が、背負いきれない重荷を担う時、他の教区・教会が彼らのために祈り、その場に駆けつけて共に担い、支え合う、そうして教区としての枠を超えた共同体の恒常性が「一つのからだ」として機能するのではないのでしょうか。

私にとって、今後自分が各地の教会、教区の出来事や担っている働きについて、今



ミカエル子ども聖歌隊による奉唱

まで以上に関心を寄せ、祈らなければならぬと召命感を新たにしてくれる気づきを与えられた説教でした。

また、教役者会二日目の朝早くに逝去された沖縄教区司祭クレイトン・エバンス師のもとへ、すぐにでも帰らなければならぬ中、私たちのために留まり、できる限りの奉仕とメッセージを届けてくださったというのを忘れずにいたいと思います。

礼拝後は、恒例の「ハレル

感謝 北海の光献金(敬称略)



上原主教様の説教に聞き入る信徒と各教会のバナー

ヤ・コーラス」が小貫多喜子さんの指揮、植松三千代さんの伴奏で、感謝と喜びの中で歌われました。
昼食を挟んでミニバザーが札幌キリスト教会のホールで開かれ、それぞれの教会が持ち寄った品物が所狭しと並べられ、子どもも大人も賑やかな交わりのひと時を楽しみました。その中で、教区の青年たちが、様々な場面で役割を担っていたことに気がつかれ

た方が多いと思います。事前準備の話合いから、会場設営、各教会のバナー捧持や抽選会のまとめ役など多岐に渡った活躍に感謝します。
教区礼拝に参加できなかった方も、それぞれの教会で事前準備をしたり、当日の礼拝に心を合わせてくださっていたことと思います。
来年、またその次の年へと、教区礼拝や様々な教区の活動を通して益々各教会の交わりが深まり、教区として「一つのからだ」となって宣教のはたらきに参与することができるよう願っております。



子ども達によるお祈り

佐藤百合子(川崎市)

オホーツク三教会合同礼拝報告

五月二七日(日) 於：北見聖ヤコブ教会

司祭 フランシスコ 飯野 正行

五月二七日(日) 北見聖ヤコブ教会で「オホーツク三教会合同礼拝」が午前が聖餐式、午後が会食と親睦・聖職アワの形で行われ二九名が集いました。礼拝説教では植松主教がペテロの貧しさに触れながら力強い励まし、メッセージをお語りくださり、集合写真の後、二階へ移動し、テゼの聖句「おーともに主をたたえん」を合唱の形で歌い祈り午後のプログラムへと入りました。午後は主教様と各教会が自由に何かをしていた



だく形で今まで行われていたが、今回は聖職の皆さんに何かをしていただく形で行われることとなり、主教様は聖歌のご紹介をされながら、「お母さん」という存在の大きさを「ご自身の体験を交えてお語りくださり、感動に震えました。紋別聖マリヤ教会の阿部司祭はクリスチャンもそうでない人もみんなの協力と責任を果たすことの深く感じ入るお話と「聖歌四一三番が心の中にずっとあったが今日礼拝で使用され主の導きを感じた」とのお証しもされました。網走聖ペテロ教会・北見聖ヤコブ教会の飯野司祭は高校三年生の時の「救いの証し」(ヨハネ一四章六節のお言葉「わたしは道であり、真理であり、命である」を通してイエス様を信じる者と変えられたお話)をいたしました。飛び入りで網走の和田弓姉も三



月に逝去されたお母様昭子さんのお証しもしてくださいました。その後聖歌五六七番を歌い、阿部司祭の閉会祈禱と主教様の祝祷をもってお開きとなりました。来年は網走です。

会場教会の北見は教会委員のほとんどが八〇代後半で互いに労り合いながら心を込めて準備をいたしました。
紋別聖マリヤ教会・網走聖ペテロ教会・北見聖ヤコブ教会の一人ひとりが一堂に会し祈りと親睦を共にすることは言葉に出来ない大きな力となっています。新しい方も来られました。ディナーチャイムもなかなか好評でしたよ。



▽新冠^{にいかつぶ}聖フランシス教会

先月号で四月二二日に植松主教さまのご巡回をいただきましたことをお知らせいたしました。その際、前日二一日(土)に日高道が「厚賀インターチェンジ」まで延伸・開通しまして、札幌からの所要時間がグンと短縮されました。みなさま、どうぞ日高へお出でくださいませ。

五月一九日の教区礼拝には、今年も当教会からの参加はかありませんでしたが、バナーを青年の方に奉持していただき、またバザーでは平取の婦人たちに委託販売をしていただき感謝でした。

▽旭川聖マルコ教会

五月六日、恒例のお花見会

を行いました。少し寒く、昼食は集会室で頂きましたが、野村学さんに手品を見せていただくなど、楽しい時を過ごしました。

一三日は、二年振りのギデオソンの協会のアピールがありました。その折、聖書普及の為に献金が奉げられました。

定例の「マルコ講座」は、今月より「ヨハネによる福音書」をじっくり学びます。

六月二三日に開催されるハーブコンサート^{ハーブコンサート}の準備・宣伝が動き始めました。楽しく有意義な演奏会になりますように願っています。

頌栄保育園では初夏のような気候のもと、園児たちは楽しく園庭を走り回っています。

▽小樽聖公会

ゴールデンウィーク期間中は、教会近くの花園橋や水天宮の桜目当ての人も増えて、教会の前を通る人も多くなります。その間、教会のドアを努めて開けておくようにいたしました。教会の前で写真を撮る方、礼拝堂の中で静かに

過ごされる方など、いつもより来訪者が増えたように思われます。

五月一三日の礼拝後、最上の教会墓地にて墓地礼拝を行いました。あいにくの小雨模様でしたが風はなく、無事に終えることができました。今年、軽量のアウトドア用簡易ベンチを二台購入して設置。荷物の負担も軽減されました。

▽帯広聖公会

五月の声を聞くと同時に、例年より早く帯広は桜が満開に。そんな快晴に恵まれた七日に、有志による牧師館の清掃と草取りが行われました。綺麗になった牧師館にはその後、ソファやベッド等が用意され、宿泊可能な環境が整いました。

一三日には松井司祭による聖餐式にあずかり、一九日の教区礼拝には一四名が出席し、キリストに結ばれた兄弟姉妹と豊かな交わりの時を持つことができました。

そして二七日には、永谷司祭による聖餐式の恵みをいた

だき、午後からは墓地礼拝が行われました。全てが主の御手にあることを覚え感謝の毎日です。

▽稚^{わかしら}内聖公会

待ち遠しかった春が、夏と一緒にやってきました。嬉しいですね。この季節のために長い冬も耐えられると言ったところでしょうか。與賀田敏子さん、半年ぶりに京都から戻られました。ご帰還歓迎！

二五日、植松主教さまご巡回。

本原さん、與賀田さん、イエズスの小さき姉妹たち二人、主教さんご夫妻の六人で聖餐式をお捧げしました。来たる八月二五日(二六日の当地における「道北四教会合同礼拝」も着々と準備が進められています。道北ばかりでなく、全国、全国からも是非ご参加ください！お待ちしております。

▽函館聖ヨハネ教会

二日、米田若子姉逝去。八五年の信仰の生涯。オーブンチャーチが本格的に始動。さらに環境整備の手伝い、ケーキ作りなどの作業のため信徒が教会に集うことの多い

月となる。一三日、主様ご巡錫。愛餐会の後、婦人会の定例会に出席いただき母の日にふさわしいお話を伺う。一九日、教区礼拝に七名参加。留守組は教会内掃除。二〇日、礼拝後聖堂コンサート開催。九九名の聴衆でいっぱいになる。聖堂改修がいよいよ始まるため、少しずつ教会内外の整備、整理を実施する。

主に感謝。

▽有^{うす}珠聖公会

五月二七日、室蘭聖マタイ教会での、胆振三教会合同礼拝に九名が参加しました。室蘭の皆様心づくしのおいしい豚汁で愛餐会。持参のおにぎりの大きき自慢は、中学生のようでした。

午後のプログラムは「三浦綾子の足跡」のビデオ。「三浦綾子読書講演会」を有珠の教会で実施したばかりでしたので一層印象深く鑑賞しました。

六月一七日の「出会いと交わりの日」には、藤井八郎先生をお迎えします。有珠の教会とは交わりの深い先生との

なつかしい再会を心待ちにしています。

▽平取聖公会

芽生地区のスズラン群生地の観賞会が二週間開催されています。記者の家の前の道道が通り道です。札幌ナンバーの車や大型バスが通っています。山は若葉となっていますが、その下に楚々と咲くスズランの花は綺麗です。

聖霊降臨日を迎えて六月は「出会いと交わりの日」で永谷亮牧師を迎えるのが楽しみです。来年は教会設立一四〇年ですが、年表の追加作成等先日打合せをしました。

保育園児の六〇名を超える可愛い姿が園舎、フジの花咲く園庭にあふれています。

▽札幌聖ミカエル教会

二〇日聖霊降臨日は、植松主教のご巡回、ブリジッド堀川光恵さんの洗礼堅信、ミカエル君の洗礼と堅信前陪餐、ラファエル望くんの洗礼式を行う。赤ちゃんの洗礼は、特段の喜びを感じます。同日、雨宮春子さんのJOCSS(キリスト教海外医療協力会)タ

ンザニア派遣内定を受け、支援について最初の世話人会を行う。七月には正式に支える会を発足予定。二七日、教会附属施設の夢を語る会。この教会を篤い祈りで築いた先輩の後を継ぎ、次のステップに向かつて取り組み始めます。三年後は、宣教七〇年の節目です。

▽新札幌聖ニコラス教会

最近教会に新しい動きが始まっています。一番大きいことはコムニオンレールを取り外したことです。聖餐式のある礼拝ではチャンセルに四人の奉仕者が座り、窮屈な感じがし検討を重ね、下澤先生が説教の中でコムニオンレールの変遷と意味をお話くださり、皆の理解を得て決め、それに伴い奉仕者が会衆席に直面して座るようになり、奉仕者と会衆が聖卓を囲む感じになりました。

又庭の花壇をきれいにし、皆が花の苗を持ち寄り、育てた花で祭壇を飾れるようにしたいと思っています。婦人会では、教区会での食

事の奉仕とバザーの準備に励んだ五月でした。

▽札幌キリスト教会

五月三日、山下将平さん鈴木萌さんの聖婚式が当教会で神様の祝福のもとで行われました。四日五日、ヨハネ柳原國彦さんのご葬儀が、召された魂の平安とご遺族への慰めの祈りの中、大町司祭の司式で執り行われました。子どもと共に捧げる聖餐式が一日三日に祈り、子ども達の祝福を祈り青年達が調理した昼食のお好焼を賞味。教区宣教一四四年目に当る教区礼拝では、全道から約三百人が参集し、沖繩教区上原榮正主教を説教者にお迎えし祝いました。教会が赤色に満たされた二〇日の精霊降臨日を迎えました。

▽留萌キリスト教会

素敵な礼拝堂なのに、曇天には電気を点けても薄暗く、礼拝用書が見えにくいのです。明るくしたいと思いつけて、ようやく工事見積を依頼。屋根裏の鐘楼から鐘を移設して、皆に見える・鳴らせる・

聞こえる鐘になる計画です。そして、屋根には雪下ろし作業の安全対策を万全に施すことに決めました。同じく懸案だった契約電力の変更も、工事費用なしで済ませることができました。寺岡工務にお世話になりました。修繕の道へ一歩進んだ五月でした。

▽岩見沢聖十字教会

五月六日主教様巡回礼拝。幼稚園の先生も出席して一人名。「わたしが愛したようにあなたも互いに愛し合いなさい。」のお説教を噛みしめる。愛餐会は春の味覚で肉の養いも豊かに頂きました。一九日教区礼拝には四名出席。懐かしい教友との交わりにミニバザーにと、あつという間に別れの時を迎える。幼稚園は一六日消防訓練、二五日交通安全教室を実施。昨年改造された園庭も冬後の整備がされ、子ども達の集中した遊び、異年齢の遊びが展開されていくようです。

▽苫小牧聖ルカ教会

六日の夜、お花見会が行われ、教会員と幼稚園の親子が

集まり、楽しいひと時を過ごしました。一三日は教区礼拝に向けてのマーマレード作り。

一九日の教区礼拝には司祭を含め一〇名が参加。バナー奉持を千葉康太郎くんがしてくれました。ミニバザーも皆さんの協力によりジャムが完売。ありがとうございます。

二〇日の礼拝後は今年度から始まった「み言葉の礼拝」についての勉強会。

二七日は室蘭聖マタイ教会で胆振三教会合同礼拝。一五名が参加し、久しぶりに室蘭の礼拝堂がいっぱいになりました。主に感謝。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

五月と言えば桜の季節であるが、保育園の桜の開花は一二日。道内でも最も遅い春がやってきました。教区礼拝には松井司祭はじめ六名が参加、楽しい交わりのひと時を過ごしました。厚岸聖オーガスチン教会は今年度から定期的な礼拝がなくなり寂しい限りですが、一四日には有志教

名で教会の掃除、備品の整理等をしてきました。釧路では、花壇の整備が難しくなり、花壇を潰して広場のようになっています。使えないか検討しています。異国情緒の残る釧路と一緒に礼拝しましょう。礼拝の後にジンギスカンがあるかもしれないね。来てみませんか！

▽室蘭聖マタイ教会

一着水仙さん！二着鼻(花)の差でチューリップさん！あとは団子状態でご到着！

季節が間違いないく巡って来る事に自然に微笑んでしまう幸せ、待つ事への恵みでしょう。三教会合同礼拝、苦小牧の方々が吉野司祭がルカバスを運転して、有珠の方々は大町司祭が峠越えをして皆さんをお連れくださいました。聖歌、お祈りの厚み、深み。真の新生、神の愛の深さをニコデモの信仰告白を通してのお勧め。只々感動でした。

賑やかで楽しい愛餐会、いつもの四倍の教にうれしい悲鳴。お手伝いありがとうございます。感謝です。

教会ご紹介のパンフレット

その周囲のお花とともにどなたかの心を暖めてくれれば嬉しいです。

▽深川聖三一教会

五月四日マリア岡本妙子さんの埋骨式。嵐の中でありました。六日委員会で境内地向かいの土地購入の相談。九日旭川で道北四教会の協働礼拝について相談。一二日保育園職員、魚岸真奈美さんご次男叶真ちゃん逝去、園長職員会葬し、九歳の幼児の魂の平安を祈る。一七日保育園職員会議。一七日一八日教役者会に甲斐司祭出席。一九日教区礼拝に五名参加。この日

ここで深川聖三一教会の新教会旗出初め、旗手は高木和枝さん。婦人会による意匠、高木悠さんによる製作、感謝。二〇日木村夕子司祭来訪、司式説教奉仕、甲斐司祭は旭川へ出向す。

▽聖マーガレット教会

五月六日は、逝去者記念礼拝。佐藤稔兄の逝去二周年でお弁当を頂く。洋子姉も少しずつお元気になりました。

教区礼拝は、二五名出席。

上原主教様が沖繩の歴史を語られ、愛に生きることの大切さを感じさせられました。

二〇日は、司小貫雅夫司祭説教上平仁志司祭、両司祭に感謝です。第四主日は、子どもを意識する礼拝ですが、一月に誕生した落安音羽ちゃん

と菊池咲良ちゃんが出席され一同笑顔の礼拝となりました。六月一〇日にミニバザーをします。多くの恵みがありますように祈ります。

▽今金インマ又エル教会

五月一九日、北海道教区礼拝。今金からは三名の出席。今回は文房具のバザーとなりました。小ダイコ以外は完売でした。感謝。礼拝は二七日、午後より残木の焼却、草刈りの作業を行いました。まだ大量の残木の処理が残っており、新しい樹木の植樹整備には時間が必要です。七月七日、八日の道南分区分婦人会の前までに教会入口の改修工事の予定。急な階段をスロープに変更します。次の週、予定されている今金ジャズコンサート

に来られる人達にもやさしい

教会となりますように。

▽紋別聖マリヤ教会

五月に入っても、なかなか衣替えができない寒い日が続きましたが、ようやく花壇も花が咲き始め、毎週の礼拝には祭壇に信徒それぞれが持ち寄った花が供えられるようになりました。二七日は、オホーツク教会合同礼拝が北見で行われ、紋別からは六名が参加しました。それぞれが小さな教会ですが、三教会が集まったの賛美はやはり力強く、またお互いを支え合う勇氣と希望を感じずにはられません。また来年も元気に再会できることを願って帰ってきました。主に感謝。

▽北見聖ヤコブ教会

北見牧師会が一五日(火)当教会で行われ「ルアッハ(息・霊・風)」について黙想致しました。二〇日(日)礼拝の中で逝去四年を記念するラケル岡ユリコ姉を覚え共に祈りました。二三日(水)合同礼拝のための諸準備を皆でしました。二七日(日)オホーツク三教会合同礼拝が当教会

を会場に行われ、紋別より六名、網走より九名、当教会より一二名、そして主教委夫妻で総勢二九名で共に祈り、共に会食し、共に笑い、共に感動致しました。新しい方も来られました。来年は網走です。

▽網走聖ペテロ教会

外の空気も景色も夏に向かっていきます。大きな行事の教区礼拝。三名が出席し主の恵みにあずかりました。二七日はオホーツク三教会合同礼拝。網走から九名の大人、子どもが北見聖ヤコブ教会に出席しました。礼拝後は北見紋別、主教委御夫妻、愛する兄弟が声をかけ合い幸いな時間を過ごしました。母の愛、責任、信仰の恵み等、一つ一つの話が今私達が生きるうえで豊かな糧となっているのを深く感じました。感謝。

